

リ サ イ ク ル 計 画 書 (積 算 段 階)

事業(工事)概要

発注機関名	
委託名	
履行場所	
設計概要等	
工事着手予定時期	

建設資材利用計画

建設資材	利用量	現場内利用 可能量	再生材利用 可能量	新材利用 可能量	再生資源利用率 (+) / × 100	備 考
土 砂	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	%	
砕 石	ト	ト	ト	ト	%	
アスファルト混合物	ト	ト	ト	ト	%	
	ト	ト	ト	ト	%	

最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	発生量	現場内利用 可能量	他工事への 搬出可能量	再生資源化施設 への搬出可能量	最終処分量	現場内利用率 (/ × 100)	備 考
建設発生土	第1種建設発生土	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	%	
	第2種建設発生土	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	%	
	第3種建設発生土	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	%	
	第4種建設発生土	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	%	
	泥土(浚渫土)	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	%	
	合 計	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	地山 ^{m³}	%	
コンクリート塊	ト	ト	ト	ト	ト	%	
アスファルト・コンクリート塊	ト	ト	ト	ト	ト	%	
建設発生木材	ト	ト	ト	ト	ト	%	
建設汚泥	ト	ト	ト	ト	ト	%	

建設発生土の区分(既存資料から判断するものとする。)

第1種建設発生土 …… 砂、礫及びこれらに準ずるもの。

第2種建設発生土 …… 砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

第3種建設発生土 …… 通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

第4種建設発生土 …… 粘性土及びこれらに準ずるもの
(第3種建設発生土を除く)

泥土(浚渫土) …… 浚渫土の内概ねqc2以下のもの。

建設発生木材の中には、伐開除根材及び選定材を含む。

利用可能量は、現時点で算出可能なものとする。

建設副産物の搬出計画について、基本的には全数量を再利用することを原則として計算する。